

1) 年齢階級別退院患者数

対象期間: 2019/04/01～2020/03/31

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	0	20	43	145	463	596	1040	1327	424	28

【解説】一般病棟に入院された年齢階級別の退院患者数を示しています。
がんは、40歳以降から徐々に増加し、60歳代、70歳代が1000人を超えています。

(2) 診断群分類別患者数等 (診療科別患者数上位5位)

対象期間: 2019/04/01~2020/03/31

※患者数が10件未満の数値は、-(ハイフン)で表示し、4位、5位が10件未満の場合は記載していません。

○消化器内科(診療科コード500)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
胃がんの内視鏡手術	060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術手術・処置等2なし	95	7.12	8.27	0	72.61
結腸がんの内視鏡手術	060035xx03xxxx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	31	5.1	6.98	0	68.81
食道がんの内視鏡手術	060010xx02x00x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)内視鏡的食道粘膜切除術等手術・処置等2なし 副傷病なし	23	5.61	8.78	0	70.43
小腸・大腸の良性腫瘍の内視鏡手術	060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	22	4.23	2.63	0	70.68
直腸がんの内視鏡手術	060040xx04xxxx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	12	4.92	6.9	0	63.42

【解説】消化器内科は、食道、胃、大腸(結腸・直腸)と多くの部位で積極的に内視鏡的治療を行っています。

○消化器外科(診療科コード510)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
膵臓・脾臓がんの手術	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	58	9.93	12.83	0	68.31
肝臓・肝内胆管がんの手術	060050xx97x00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	54	9.59	10.25	1.85	68.96
胃がんの手術	060020xx02x00x	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等手術・処置等2なし 副傷病なし	39	15.74	16.12	0	66.36
結腸がんの腹腔鏡下手術	060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	39	12.85	15.02	0	69.95
食道がんの化学療法	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。) 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	36	9.83	9.34	0	66.25

【解説】消化器外科は、肝胆膵外科、食道胃外科、大腸骨盤外科の3グループからなり、食道、胃、大腸(結腸・直腸)、膵臓、肝臓と幅広くがん治療を行っています。手術は、腹腔鏡下手術を多く行っています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
肺がんの生検	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	97	2.19	3.34	1.03	71.39
肺がんの化学療法	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	55	10.36	9.59	0	70.51
肺がんの治療(手術なし)	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	40	16.28	14.62	5	74.55
肺がんの化学療法	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 副傷病あり	32	16.88	16.87	0	71.84
肺がんの化学療法(パクリタキセル及びカルボプラチンによる治療)	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり	22	22.86	20.04	0	72.23

【解説】呼吸器内科は、CTガイド下肺生検等で診断を行い、入院化学療法を多く行っています。

○呼吸器外科(診療科コード160)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肺がんの手術	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし	122	11.26	11.51	0.82	69.29
肺がんの生検	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	24	2.71	3.34	0	72.83
肺がんの治療(手術なし)	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	13	12.08	14.62	0	72
肺がんの化学療法(ペメトレキセドナトリウム水和物による治療)	040040xx99071x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等27あり 副傷病あり	11	15.73	18.77	0	74
肺がんの化学療法	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 副傷病あり	-	-	16.87	-	-

【解説】呼吸器外科は、超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法(EBUS-TBNA)やCTガイド下肺生検等で診断を行っています。
手術では、原発性肺癌や転移性肺癌に対して胸腔鏡下手術を多く行っています。
また、術前化学療法や術後化学療法も行っています。

○泌尿器科(診療科コード310)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
前立腺がんの生検	110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 副傷病なし	-	-	2.49	-	-
前立腺がんの放射線治療	110080xx9902xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等22あり	-	-	27.76	-	-
前立腺がんの手術	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	-	-	12.18	-	-
前立腺がんの治療(手術なし)	110080xx99001x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病あり	-	-	12.69	-	-
前立腺がんの放射線治療(密封小線源治療)	110080xx9907xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等27あり	-	-	4.06	-	-

【解説】泌尿器科は、検査や手術、放射線治療と幅広く行っています。

○婦人科(診療科コード330)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
子宮頸がん・子宮体がんの手術	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	94	9.8	12.29	0	54.96
子宮頸がん・子宮体がんの子宮頸部(腔部)切除術	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等2なし	64	4.03	3.13	0	38.52
子宮良性腫瘍の腹腔鏡下手術	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	63	8.1	6.09	0	44.54
卵巣良性腫瘍の腹腔鏡下手術	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	50	7.88	6.21	0	42.92
子宮頸がん・子宮体がんの化学療法	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	47	4.13	4.58	0	59.45

【解説】婦人科は、子宮頸がん・子宮体がんや子宮・卵巣の良性腫瘍に対して腹腔鏡下手術を多く行っています。
また、入院化学療法も行っています。

○乳腺外科(診療科コード111)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
乳がんの乳房切除・部分切除術(腋窩リンパ節郭清含む)	090010xx01x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等手術・処置等2なし	167	9.98	10.34	0	59.27
乳がんの乳房部分切除術	090010xx02x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)手術・処置等2なし	120	6.29	6.1	0	57.56
乳がんの手術	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	58	2.76	6.48	0	56.29
乳がんの治療(手術なし)	090010xx99x00x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	11	5.82	8.43	0	63.18
乳がんの化学療法	090010xx99x2xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2あり	-	-	29.2	-	-

【解説】乳腺外科は、腋窩リンパ節郭清を含む乳房切除もしくは部分切除術を多く行っています。
また、化学療法またはホルモン療法を行い、腫瘍縮小後に手術も行っています。

○骨軟部腫瘍科・整形外科(診療科コード121)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
良性軟部腫瘍の切除術	070010xx010x0x	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	34	5.38	5.41	0	51.29
骨腫瘍の切除術	180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	28	5.11	6.39	0	40
良性脂肪性腫瘍の切除術	080007xx97xxxx	皮膚の良性新生物 その他の手術あり	15	4.27	5.94	0	55.47
良性神経腫瘍の切除術	070020xxxx0xxx	神経の良性腫瘍 手術・処置等1なし	13	4.62	7.16	0	48.69
悪性軟部腫瘍の切除術	070041xx01x00x	軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く。)四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 手術・処置等2なし 副傷病なし	13	11.62	16.8	0	62.92

【解説】骨軟部腫瘍科・整形外科は、良性・悪性の軟部腫瘍、骨腫瘍に対して積極的に手術を行っています。

○形成外科(診療科コード130)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
上肢・下肢リンパ浮腫のリンパ管吻合術	070520xx97xxxx	リンパ節、リンパ管の疾患 手術あり	47	8.21	8.71	0	60.57
四肢・躯幹皮膚潰瘍の植皮術	100100xx97x0xx	糖尿病足病変 手術あり 手術・処置等2なし	-	-	24.27	-	-
下肢静脈瘤の手術	050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	-	-	2.78	-	-
上肢・下肢リンパ浮腫の治療(手術なし)	070520xx99xxxx	リンパ節、リンパ管の疾患 手術なし	-	-	8.42	-	-
蜂窩織炎の治療	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	-	-	12.55	-	-

【解説】形成外科は、上肢・下肢のリンパ浮腫に対してリンパ管吻合術を多く行っています。

○血液内科(診療科コード480)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
急性白血物の化学療法	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等22あり	89	34.04	39.36	1.12	67.2
非ホジキンリンパ腫の 植込型カテーテル設置と化学療法 (リツキシマブによる治療)	130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等24あり 副傷病なし	86	25.29	31.3	0	70.77
非ホジキンリンパ腫の化学療法 (リツキシマブによる治療)	130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	50	22.04	15.79	0	71.32
非ホジキンリンパ腫の治療	130030xx99x00x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	35	6.54	9.76	2.86	72.91
非ホジキンリンパ腫の 植込型カテーテル設置と 化学療法	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等23あり	22	25.73	32.2	0	66.77

【解説】血液内科は、非ホジキンリンパ腫の中でも「びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫」を多く治療しています。
入院後、化学療法を行うために必要なカテーテルを血管内に留置します。

○放射線治療科(診療科コード271)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
甲状腺がんの放射線療法 (I131内用療法)	100020xx99x2xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等22あり	45	4	6.31	0	64.87
甲状腺がんの放射線療法	100020xx99x1xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等21あり	-	-	24.23	-	-
胆のう、肝外胆管がんの 放射線治療	060060xx99x2xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等22あり	-	-	25.06	-	-
悪性骨腫瘍の放射線治療	070040xx97x2xx	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)その他の手術あり 手術・処置等22あり	-	-	42.22	-	-
腎がんの放射線治療	11001xx99x1xx	腎腫瘍 手術なし 手術・処置等21あり	-	-	17.08	-	-

【解説】放射線治療科は、甲状腺がんの甲状腺全摘後の補助療法や再発・遠隔病変に対して、放射線ヨウ素-131内用療法を行っています。多くの症例は外来通院で放射線治療を行っています。

○緩和ケア科(診療科コード640)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肺がんの緩和ケア	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	14.62	-	-
乳がんの緩和ケア	090010xx99x01x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病あり	-	-	12.92	-	-
結腸がんの緩和ケア	060035xx99x01x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病あり	-	-	16.43	-	-
直腸がんの緩和ケア	060040xx99x01x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病あり	-	-	17.08	-	-
胆のうがん・肝外胆管がんの 緩和ケア	060060xx99x00x	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	11.21	-	-

【解説】緩和ケア科は、各診療科からの紹介が多いため、件数が少なくなっています。

(3)初発の5大癌のUICC病期分類ならびに再発患者数

対象期間:2019/04/01~2020/03/31

5大癌	初発					再発	病期分類基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	125	15	21	34	4	36	1	7,8
大腸癌	41	27	43	32	15	54	1	7,8
乳癌	140	96	36	10	72	50	1	7,8
肺癌	114	27	73	166	21	189	1	7,8
肝癌	20	16	10	11	1	85	1	8

※ 1:UICC TNM分類 2:癌取り扱い規約

【解説】5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)の病期(ステージ)別、初発患者数を示します。
病期(ステージ)が上がるにつれて癌が進行していることを示しています。
また、「再発」は当センターで初発と診断され、その後再発した患者さんと、他院で初発と診断され再発のため当センターを受診した患者さんを合わせた数となっています。

(4)成人市中肺炎の重症度別患者数

対象期間:2019/04/01~2020/03/31

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	3	14.00	58.67
中等症	26	14.73	75.12
重症	3	13.67	80.67
超重症	0	0.00	0.00
不明	0	0.00	0.00

【解説】当センターはがん専門病院のため、肺炎で入院される患者さんは限られています。
重症度が高くなるにつれ、平均年齢は高くなっていることがわかります。

(5)脳梗塞の患者数

対象期間:2019/04/01~2020/03/31

ICD10	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率	転院患者数
I63\$	3日以内	3	3.67	62.67	33.33	1
I63\$	その他	0	0	0	0	0

【解説】当センターはがん専門病院のため、肺炎と同様、脳梗塞で入院される患者さんは限られています。

(6)診療科別主要手術別患者数等（診療科別症例数上位5位）

対象期間:2019/04/01～2020/03/31

※患者数が10件未満の数値は、-(ハイフン)で表示し、4位、5位が10件未満の場合は記載していません。

外科

○消化器外科(診療科コード510)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	108	3.64	5.32	1.85	67.11
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	51	3.88	8.86	0	69.61
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	45	1.64	7	2.22	70.56
K655-22	腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)	23	3.3	12.35	0	66.91
K7032	膵頭部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合)	20	5.75	32.6	0	71.25

【解説】消化器外科は、肝胆膵外科、食道胃外科、大腸骨盤外科の3グループからなります。
胃がん、大腸がん(結腸がん・直腸がん)は、腹腔鏡下にて手術を行っています。
肝臓がんでは、切除不能な症例はカテーテルを用いた動脈化学塞栓術を多く行っています。
膵臓がんでは、術前化学療法等を組み合わせて、手術を行っています。
また、化学療法を行うために必要なカテーテルを血管内に留置する手術も行っています。

○呼吸器外科(診療科コード160)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超える)	54	2.63	7.98	1.85	70.69
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(部分切除)	35	2.86	6.37	0	68.6
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)	16	2.31	7.63	0	66.25
K5143	肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)	12	2.08	9.83	0	71.33
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-

【解説】呼吸器外科は、症例の多くが胸腔鏡下での手術であり、中でも肺葉切除術を多く行っています。

○泌尿器科(診療科コード310)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K843	前立腺悪性腫瘍手術	-	-	-	-	-
K8036口	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	-	-	-	-	-

【解説】泌尿器科は、前立腺がんや膀胱がんの手術を行っています。

○婦人科(診療科コード330)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	103	2.01	5.03	0	50.28
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	70	2.07	5.56	0	55.14
K867	子宮頸部(腔部)切除術	64	1	2.02	0	38.63
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)	42	2	4.88	0	41.9
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	25	2.4	9.36	0	59.28

【解説】婦人科は、悪性腫瘍(子宮体がんや子宮頸がん)、良性腫瘍(子宮筋腫や卵巣のう腫等)に対して腹腔鏡下手術を多く行っています。

○乳腺外科(診療科コード111)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わない))	122	2.16	3.16	0	57.54
K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない))	114	2.18	5.99	0	60.29
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	60	1.58	2.33	0	55.6
K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術・胸筋切除を併施しない)	46	2	8.93	0	57.52
K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴う))	-	-	-	-	-

【解説】乳腺外科は、多くの症例で腋窩部郭清を伴わない乳房切除・部分切除術を行っています。
また、術前・術後に化学療法を行うために必要なカテーテルを血管内に留置する手術も行っています。

○骨軟部腫瘍科・整形外科(診療科コード121)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(肩, 上腕, 前腕, 大腿, 下腿, 躯幹)	49	1	2.9	0	55.39
K0311	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(肩, 上腕, 前腕, 大腿, 下腿, 躯幹)	16	1.31	15	0	66.56
K0302	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(手, 足)	15	1	2.47	0	47.27
K0521	骨腫瘍切除術(肩甲骨, 上腕, 大腿)	-	-	-	-	-
K0821	人工関節置換術(肩, 股, 膝)	-	-	-	-	-

【解説】骨軟部腫瘍科・整形外科は、良性・悪性の軟部腫瘍に対して手術を多く行っています。

○形成外科(診療科コード130)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K628	リンパ管吻合術	46	1	6.09	0	60.63
K016	動脈(皮)弁術, 筋(皮)弁術	-	-	-	-	-
K0171	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付き)(乳房再建術)	-	-	-	-	-
K476-32	動脈(皮)・筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後)(二次的)	-	-	-	-	-
K6173	下肢静脈瘤手術(高位結紮術)	-	-	-	-	-

【解説】形成外科は、上肢・下肢の原発性・続発性リンパ浮腫に対してリンパ管吻合術を多く行っています。

内科

○消化器内科(診療科コード500)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	92	1.03	5.12	0	72.61
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	43	1	3.05	0	67.3
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	26	0.96	4.08	0	69.46
K526-22	内視鏡的食道粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)	23	1	3.52	0	70.74
K6534	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(その他)	-	-	-	-	-

【解説】消化器内科は、食道がん、胃がん、大腸がん(結腸・直腸)に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行っています。

○血液内科(診療科コード480)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	84	1.12	20.43	0	70.02
K92120	造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植の場合)	17	18.29	2.94	0	64
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	-	-	-	-	-

【解説】血液内科では、化学療法が中心となり、そのために必要なカテーテルを血管内に留置する手術を多く行っています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	17	4.82	17.41	0	70.71
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	-	-	-	-	-
K331	鼻腔粘膜焼灼術	-	-	-	-	-
K5091	気管支異物除去術(直達鏡)	-	-	-	-	-
K522-2	食道ステント留置術	-	-	-	-	-

【解説】呼吸器内科は、化学療法を中心に行っているため、そのために必要なカテーテルを血管内に留置する手術を行っています。

○緩和ケア科(診療科コード640)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	-	-	-	-	-
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	-	-	-	-	-
K689	経皮経肝胆管ステント挿入術	-	-	-	-	-

【解説】緩和ケアに必要な処置として治療が行われています。

○放射線治療科(診療科コード271)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-

【解説】疼痛コントロール管理に必要なカテーテルを血管内に留置する手術を行っています。

(7)その他(DIC、敗血症、その他の真菌症及び手術・術後の合併症の発症率)

対象期間:2019/04/01~2020/03/31

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発症率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	2	0.05
		異なる	2	0.05
180010	敗血症	同一	5	0.12
		異なる	7	0.17
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	1	0.02
180040	手術・処置等の合併症	同一	11	0.27
		異なる	2	0.05

【解説】入院した時の疾患と入院後の最も治療した疾患が同じ場合、入院の契機が「同一」となります。当センターはがん専門病院であるため、播種性血管内凝固症候群、敗血症で入院することは少なく、この症状はがんの治療またはがんの進行により生じるものです。手術、処置等の合併症としては、造影剤ショック、後出血、吻合部狭窄等があります。